

和歌山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	複合構造工学		
科目基礎情報								
科目番号	0015			科目区分	専門 / 選択			
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2			
開設学科	エコシステム工学専攻			対象学年	専2			
開設期	前期			週時間数	2			
教科書/教材	プリント配布							
担当教員	三岩 敬孝							
到達目標								
コンクリート構造物の耐力算定をすることができる。 合成桁の各種応力算定をすることができる。 SRC構造物の耐力算定をすることができる。								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
コンクリート構造物の耐力算定	コンクリート構造物の耐力算定でき応用することができる。			コンクリート構造物の耐力算定をすることができる。		コンクリート構造物の耐力算定をすることができない。		
合成桁の各種応力算定	合成桁の各種応力算定でき応用することができる。			合成桁の各種応力算定をすることができる。		合成桁の各種応力算定をすることができない。		
SRC構造物の耐力算定	SRC構造物の耐力算定でき応用することができる。			SRC構造物の耐力算定をすることができる。		SRC構造物の耐力算定をすることができない。		
学科の到達目標項目との関係								
教育方法等								
概要	コンクリート構造学，鋼構造学の知識を応用して，鋼およびコンクリートの複合構造について接合方法，応力伝達機構および耐力の算定方法を習得する。							
授業の進め方・方法	講義形式で授業を実施し，適宜，課題を与え提出させる。							
注意点	成績評価は課題の提出物によることから，レポートの提出は必須であることに注意すること。							
授業計画								
前期	1stQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	シラバスの説明 コンクリート構造学 材料特性，はり部材			シラバスの説明 コンクリート構造学 材料特性，はり部材を理解し説明できる。		
		2週	コンクリート構造学 柱部材			コンクリート構造学 柱部材を理解し説明できる。		
		3週	コンクリート構造学 (課題演習)			コンクリート構造学 を理解し説明できる。		
		4週	鋼構造学 合成桁			鋼構造学 合成桁を理解し説明できる。		
		5週	鋼構造学 合成桁			鋼構造学 合成桁を理解し説明できる。		
		6週	鋼構造学 合成桁 (課題演習)			鋼構造学 合成桁を理解し説明できる。		
		7週	複合構造とは 定義と分類，特徴			複合構造とは 定義と分類，特徴を理解し説明できる。		
	8週	複合構造の形式			複合構造の形式を理解し説明できる。			
	2ndQ	9週	接合方式と応力伝達			接合方式と応力伝達を理解し説明できる。		
		10週	複合構造の理論			複合構造の理論を理解し説明できる。		
		11週	複合構造の理論 (課題演習)			複合構造の理論を理解し説明できる。		
		12週	複合構造の設計 合成はり部材の耐力算定			複合構造の設計 合成はり部材の耐力算定を理解し説明できる。		
		13週	複合構造の設計 合成柱部材の耐力算定			複合構造の設計 合成柱部材の耐力算定を理解し説明できる。		
		14週	複合構造の設計 鋼コンクリートサンドイッチ部材			複合構造の設計 鋼コンクリートサンドイッチ部材を理解し説明できる。		
		15週	複合構造の設計 (課題演習)			複合構造の設計を理解し説明できる。		
16週								
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
			課題レポート			合計		
総合評価割合			100			100		
配点			100			100		